

都市を託される責任。



2016年4月1日

森トラスト株式会社

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-3-17

虎ノ門2丁目タワー

お問い合わせ先: 広報部

TEL 03-5511-2255 FAX 03-5511-2259

URL <http://www.mori-trust.co.jp>

PRESS RELEASE

森トラスト株式会社 2016年度入社式 訓示

森トラスト株式会社では、本日（4月1日）午前11時より、本社（虎ノ門2丁目タワー）にて2016年度入社式を開催し、本日より社会人となる新入社員16名に向けて、訓示が行われました。ここにその内容（要約）をご紹介します。

2016年度の新入社員の皆さんは、中国経済や原油価格の動向、日本におけるマイナス金利導入など、これまで経験したことのない世界的な激動の時代に入社された。2020年の東京五輪に向けたインバウンド増加や農業改革など明るい面もある一方、本質的には少子高齢化による需要不足の構造があり、極めて難しい時代にあるといえる。技術大国と呼ばれてきた日本の産業再編を見ると、次代の産業・技術を見通した「選択と集中」の重要性が示唆されており、それは我々不動産業界でも同様と考える。

森トラストグループは、主軸となる不動産開発事業で東京を牽引するプロジェクトを抱えるほか、ホテル&リゾート事業では拡大するインバウンドを背景に、シティ・リゾート両方でビジネスチャンスが豊富にある。独自のグループを形成しているため、投資事業などを通じ、多種多様な事業を手掛ける体制も整っている。その中で、森トラストグループとして、次代を見越した「選択と集中」が極めて重要な時代にあると認識している。

我々が注目しているのは、「第4次産業革命」とも言われるロボットや人工知能、あるいは再生医療といった新しい技術の飛躍的な進歩で、これらのツールが持つ能力を最大限活かし、それぞれの事業にいかに取り込んでいくかが今後の課題となる。日本の第三次産業はGDP全体の75%を占めるが、その生産性は米国と比べ大幅に低いとのデータもある。新たな技術を用いてどう生産性を上げていくかが、日本経済の成長の鍵を握ると言える。また、世界的に供給が過剰で需要が不足している行き詰った状況の中で、日本は世界に先行して少子高齢化社会を迎えており、この問題を日本がいかに解決するかに世界が注目している。こうした社会課題に対し、我々森トラストグループは、都市開発や観光産業において、あるいは新規事業を通じて、技術や発想を柔軟に変えながら、社会に対してどのような貢献をしていけるかを考え、適切な「選択と集中」を行い、事業を展開していく必要がある。そういった意味では、全く新しいビジネスモデルを作ることができる、非常に面白い時代ともいえる。

本日入社された皆さんは、多種多様な専門とキャリアを持ち、次々と刷新されていく技術を柔軟に取り入れる能力もある。積極的に新しい世代の発想を事業に繋げる自主性を持ち、個々人の能力向上とともに、同期との情報交換を密にし、多彩な専門性を結集してグループとして成果を挙げていただくことを大いに期待している。

[森トラストグループ 代表 森 章]